

学校教育目標	◎精いっぱい学習する子 ○人のためにつくす子 ○すすんで体をきたえる子	【目指す学校像】	・子供たちにとって学びがいのある学校 ・教職員にとって働きがいのある学校
		【目指す児童・生徒像】	・心身共に健康な児童 ・創造性に富んだ児童 ・人間として調和のとれた児童
		【目指す教師像】	・人権感覚が豊かな教師 ・創造性に富んだ教師 ・チームを意識した協調性のある教師 ・絶えず研究と修養に励む教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	「分かること・できることが楽しい」 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を工夫し、自らすすんで学習に取り組む児童を育成する。	授業において、児童相互の学び合い活動を取り入れ、すすんで学習に取り組ませる授業を実践する。	4	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…70%以上の教員	4	話し合い時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…70%以上の児童	3	特に、「課題把握(めあて)」と「振り返り」について意識して取り組んだ。	B	全教員が「めあて」を明確にし、「振り返り」をしっかりを行い、めあてに即した学び合いができるようにする。
				3	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…60%以上の教員	3	話し合い時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…60%以上の児童				
				2	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…50%以上の教員	2	話し合い時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…50%以上の児童				
				1	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…50%未満の教員	1	話し合い時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…50%未満の児童				
				4	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…70%以上の教員	4	学習にタブレットの活用は役立っている…70%以上の児童				
				3	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…60%以上の教員	3	学習にタブレットの活用は役立っている…60%以上の児童				
		デジタル教科書、タブレット端末等を活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進する。	「ICTスキルステップ表」を基にし、タブレット端末をはじめとしたICT機器を学習に有効的に活用する。	3	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…50%以上の教員	3	学習にタブレットの活用は役立っている…50%以上の児童				
				2	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…50%未満の教員	2	学習にタブレットの活用は役立っている…50%未満の児童				
				1	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…50%未満の教員	1	学習にタブレットの活用は役立っている…50%未満の児童				
				4	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…70%以上の教員	4	落ち着いて授業が受けられた…70%以上の児童	3	1人1台のタブレット端末は各教科で有効に活用し、個別最適化の学習に役立てた。	B	情報機器の活用だけにとらわれず、ツールの一つとして指導内容に合わせて活用することが望ましい。
				3	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…60%以上の教員	3	落ち着いて授業が受けられた…60%以上の児童				
				2	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…50%以上の教員	2	落ち着いて授業が受けられた…50%以上の児童				
1	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…50%未満の教員	1	落ち着いて授業が受けられた…50%未満の児童								
4	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…70%以上の教員	4	落ち着いて授業が受けられた…70%以上の児童								
3	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…60%以上の教員	3	落ち着いて授業が受けられた…60%以上の児童								
豊かな心	「みんなと仲良くできて楽しい」 道徳教育の充実を図り、人権尊重の精神を醸成し、共に認め高め合い、学校は楽しいと実感できる児童の育成を目指す。	道徳授業の質の向上を図り、自分の考え方に気付く、互いに認め合う児童を育成する。	道徳授業を通して、一人一人の良さを認め、互いに必要とされる実感がもてる学級経営を実践する。	4	お互いを認め合う道徳授業の実施…70%以上の教員	4	思いやりの心をもって行動している…70%以上の児童	3	異なる意見を尊重することが大切である意識付けができた。	B	児童会や学級会等で道徳授業で培った内容を実践していく。
				3	お互いを認め合う道徳授業の実施…60%以上の教員	3	思いやりの心をもって行動している…60%以上の児童				
				2	お互いを認め合う道徳授業の実施…50%以上の教員	2	思いやりの心をもって行動している…50%以上の児童				
				1	お互いを認め合う道徳授業の実施…50%未満の教員	1	思いやりの心をもって行動している…50%未満の児童				
				4	学校じみ対策基本方針に基づいた指導…70%以上の教員	4	学校で安心して生活できている…70%以上の児童				
				3	学校じみ対策基本方針に基づいた指導…60%以上の教員	3	学校で安心して生活できている…60%以上の児童				
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気付き対応し、安心して通える学校にする。	学校いじめ対策基本方針に基づいて児童への指導を定期的に行う。	2	学校じみ対策基本方針に基づいた指導…50%以上の教員	2	学校で安心して生活できている…50%以上の児童				
				1	学校じみ対策基本方針に基づいた指導…50%未満の教員	1	学校で安心して生活できている…50%未満の児童				
				4	異学年交流活動を含めた指導の実施…70%以上の教員	4	学校や学級の仲間と接している…70%以上の児童	3	毎月のいじめ対策委員会において早期発見対応を行っている。SOSカードの取組を行った。	A	教職員の規範意識を高め、SOSカード等の取組を継続していく。
				3	異学年交流活動を含めた指導の実施…60%以上の教員	3	学校や学級の仲間と接している…60%以上の児童				
				2	異学年交流活動を含めた指導の実施…50%以上の教員	2	学校や学級の仲間と接している…50%以上の児童				
				1	異学年交流活動を含めた指導の実施…50%未満の教員	1	学校や学級の仲間と接している…50%未満の児童				
4	異学年交流活動を含めた指導の実施…70%以上の教員	4	学校や学級の仲間と接している…70%以上の児童								
3	異学年交流活動を含めた指導の実施…60%以上の教員	3	学校や学級の仲間と接している…60%以上の児童								
健やかな体	「心も体も弾んで楽しい」 からが計画的に体力向上を推進し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、自己管理のできるたくましい児童の育成を目指す。	健康教育の充実を図るためにグッドモーニング60分の取組を年間を通して行う。	4	健康教育活動の実施…70%以上の教員	4	安全・安心や健康についての知識を活かしている…70%以上の児童	3	職員が年間を通して、健康教育が児童の健康意識につながるようにしていくべき。	B	児童に場面ごとに例示し、安全や健康についてより意識できるようにしていく。
				3	健康教育活動の実施…60%以上の教員	3	安全・安心や健康についての知識を活かしている…60%以上の児童				
				2	健康教育活動の実施…50%以上の教員	2	安全・安心や健康についての知識を活かしている…50%以上の児童				
				1	健康教育活動の実施…50%未満の教員	1	安全・安心や健康についての知識を活かしている…50%未満の児童				
				4	体力向上に関する指導を20回以上実施…70%以上の教員	4	体を動かしたり遊んだりしている…70%以上の児童				
				3	体力向上に関する指導を20回以上実施…60%以上の教員	3	体を動かしたり遊んだりしている…60%以上の児童				
		一人一人が体力向上を意識できる、体育学習の充実を図る。	コーディネーショントレーニングを含む体力向上へ向けて実践を体育の授業で行う。	2	体力向上に関する指導を20回以上実施…50%以上の教員	2	体を動かしたり遊んだりしている…50%以上の児童				
				1	体力向上に関する指導を20回以上実施…50%未満の教員	1	体を動かしたり遊んだりしている…50%未満の児童				
				4	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…70%以上の教員	4	食事や栄養についての知識を生かしている…70%以上の児童	2	元気アップガイドブックの活用は全学年で行ったが、日常的な活用はできていない。	B	各学期末に振り返りさせ、運動や遊びに継続的に取り組ませたり、生活習慣を見直させたりする。
				3	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…60%以上の教員	3	食事や栄養についての知識を生かしている…60%以上の児童				
				2	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…50%以上の教員	2	食事や栄養についての知識を生かしている…50%以上の児童				
				1	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…50%未満の教員	1	食事や栄養についての知識を生かしている…50%未満の児童				
4	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…70%以上の教員	4	自分の得意なことは何かについて考える…70%以上の児童								
3	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…60%以上の教員	3	自分の得意なことは何かについて考える…60%以上の児童								
輝く未来	「みんなの役に立てて楽しい」 自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じている児童を育成する。	自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じている児童を育成する。	児童が自分自身を見つめ、自分の得意なところを見つけて指導を行う。	4	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…70%以上の教員	4	自分の得意なことは何かについて考える…70%以上の児童	3	主に学級活動で、児童が創意工夫しながら活動を進めることで、自分の得意を見付けている。	B	各学級の取組について共有し、良い取組を広げていく。
				3	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…60%以上の教員	3	自分の得意なことは何かについて考える…60%以上の児童				
				2	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…50%以上の教員	2	自分の得意なことは何かについて考える…50%以上の児童				
				1	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…50%未満の教員	1	自分の得意なことは何かについて考える…50%未満の児童				
				4	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…70%以上の教員	4	自分の将来について考えることがある…70%以上の児童				
				3	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…60%以上の教員	3	自分の将来について考えることがある…60%以上の児童				
		キャリア教育を推進し、自分の将来に対して考えさせる。	自身の成長や変容に気付くことができるようにキャリア・パスポートの活用を図る。	2	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…50%以上の教員	2	自分の将来について考えることがある…50%以上の児童				
				1	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…50%未満の教員	1	自分の将来について考えることがある…50%未満の児童				
				4	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…70%以上の教員	4	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…70%以上の児童	3	1学期2回、2学期1回、3学期2回、年5回を実施した。	B	友達の目標を共有するなどして、他者理解へつながっていく。
				3	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…60%以上の教員	3	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…60%以上の児童				
				2	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…50%以上の教員	2	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…50%以上の児童				
				1	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…50%未満の教員	1	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…50%未満の児童				
4	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…70%以上の教員	4	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…70%以上の児童								
3	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…60%以上の教員	3	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…60%以上の児童								